

農林水産業みらい基金 2024年度助成対象事業の決定について

わたくしたち農林水産業みらい基金は、このたび2024年度における助成対象事業を決定いたしました。

農林水産業みらい基金では、「農林水産業と食と地域の暮らしへの貢献」に向けて、「前例にとらわれず創意工夫にあふれた取組みで、直面する課題の克服にチャレンジしている地域の農林水産業者へのあと一歩の後押し」を行うための助成活動を行っております。

2024年5月10日から7月1日で一般公募を行いましたところ、全国各地より計198件のご応募を頂きました。多数のご応募を頂きましてありがとうございました。

今回、ご応募頂いた申請について厳正な審査を行った結果、本年度の助成対象事業として合計3件(前年比▲3件)・助成総額1億6,537万円を決定しました¹。

助成対象事業は別紙のとおりです。

今後、助成対象事業に対する資金助成とともにそれぞれの取組みを広く紹介して参ります。

来年度につきましても、農林水産業の発展に向けた助成事業を行ってまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

以上



¹ 申請額ベースの金額であり、実際の助成金額と異なる場合があります。

助成先①（農業）

事業主体	全国農業協同組合連合会 福岡県本部
プロジェクト名	産学連携による次世代担い手の育成(食料安全保障)
事業地	福岡県、大分県、兵庫県



- 当会は、JA(農業協同組合)が会員となり組織した経済事業を行う連合会組織であり、農畜産物の流通や農業資材の供給を行う事業、営農に関する指導事業を行っています。
- 農村集落では人口減少と高齢化により、集落営農が困難になり、安全・安心な食糧供給を支える生産基盤の維持が難しくなっています。
- 当会では、福岡県、大分県、兵庫県において、農作業を請け負う企業や組合を通じて年間約5万人の労働力派遣を支援していますが、農家のニーズや労働力の管理に課題がありました。
- 本事業は、農家に代わって農作業を請け負う企業や組合が効率的に労働力を派遣できるよう、農業生産を存続させるリソースマネジメントシステムを、同志社大学と産学連携して開発し、普及に取り組むものです。
- 農家と農作業請負会社が情報を共有することで、様々な人材の活用を進め、農業分野以外の企業による農業への参入や農作業者の雇用促進を図り、農村集落での人手不足を解消し、持続的な食糧確保に繋げることを目指しています。

助成先②（林業・農業）

事業主体	株式会社 HATSUTORI
プロジェクト名	地域で不要な流木を活用したバイオ炭技術開発と販売・流通に関する事業
事業地	宮崎県 宮崎市



- 当社は、山林から発生する流木や林地残材などの未利用材をバイオ炭化したもの(当社が開発した移動式炭化炉や炭化技術を使用)を農業・畜産分野での利用を図る取り組みを宮崎県で行っています。
- 製炭炉、炭化・乾燥技術については、宮崎大学および大手建設会社・電力会社・化学メーカー・機械メーカーと協力して開発を進め、実用可能なレベルとしており、宮崎県「令和5年度脱炭素化技術研究開発支援事業」にも採択されています。
- 台風が襲来するたびにダムに流れ込む流木や林地残材については、資源として利用されずに残置や焼却処分されることが多く、その処理にはコストや環境への影響が伴います。
- 本事業は、流木や林地残材が発生した現場に近い場所に設置可能な移動式炭化炉を販売しており、木材を運び出す際の経済的負担を軽減しています。また、炭化炉に搭載された独自の無煙技術により、環境への負荷も低減しています。
- さらに、当社の炭化炉で製造されたバイオ炭は、農業・畜産分野の資材として活用が始まっています。今後は、農地の土壌改良にも使用を拡大し、農作物の生産性向上とあわせ、地域の資源循環とカーボンニュートラル社会の実現に貢献していくことを目指しています。

助成先③（林業）

事業主体 湊運輸倉庫株式会社
 プロジェクト名 「ドローンで里山の価値を再発見するプロジェクト」
 事業地 岩手県 雫石町・岩手県 葛巻町・千葉県 野田市



- 当社は、盛岡を拠点に倉庫を所有し、幹線輸送、一時保管、仕分け作業などを行う運送事業を展開しています。さらに、ドローン事業部を設置し、盛岡市のデジタル技術実証実験事業に採択されるなど、ドローン技術の需要増加に対応しています。
- 林業において広葉樹の立木の買取価格提案は、これまで経験豊かな「山の匠」に依存していましたが、林業従事者の高齢化や担い手不足が深刻化し、里山の荒廃が進んでいるという課題に直面しています。
- 本事業では、岩手県葛巻町の「こいわの森」などを舞台に、ドローンを使った空撮画像から広葉樹の種類をAIで判別する技術を開発し、山の匠の技術をデジタル化(DX化)によって、次世代への技術継承を進め、担い手不足による里山荒廃に歯止めをかける取り組みを行っています。
- この技術開発は、ドローン空撮に精通した当社、機械学習の専門家である東京理科大学、そして地域の樹種に関する豊富な知識を持つ葛巻町森林組合が連携して進めています。
- この技術開発により、VTOL(垂直離着陸型)ドローンを森林調査に導入し、300ヘクタール以上の広大な面積を効率的に調査できるようにし、航空レーザーや衛星画像を超える精度で、広葉樹林の詳細な資源情報を提供することを目指しています。

2024年度 申請・助成件数

		件数		(前年度)		(前年比)	
助成申請受付<合計>		(100%)	198件	(100%)	183件	+15	
産業別	農業		137件		134件	+3	
	林業		25件		17件	+8	
	水産業		36件		32件	+4	
地域別	北海道・東北		31件		28件	+3	
	関東・甲信越		65件		51件	+14	
	東海・北陸・近畿		41件		45件	▲4	
	中国・四国		21件		20件	+1	
	九州・沖縄		40件		39件	+1	
助成対象事業合計		(2%)	3件	(3%)	6件	▲3	

以上